

様式第 4 号その①（第 6 条関係）

令和 6 年 4 月 1 日

宗像市長 伊豆美沙子様  
（宗像市議会議長経由）

議員名 岩岡 良

政務活動費収支報告書

宗像市議会政務活動費の交付に関する条例第 5 条第 1 項の規定により、別紙  
のとおり令和 5 年度政務活動費収支報告書を提出します。



令和5年度政務活動費収支報告書

議員名 岩岡 良

1 収入

政務活動費 264,000 円

2 支出

(単位：円)

項目	領収書額	政務活動費報告額
研修開催費	0	0
調査研究費	0	0
資料作成及び資料購入費	0	0
広報及び広聴費	340,738	264,000
人件費	0	0
事務所費	0	0
合計	340,738	264,000

3 残額

0 円

4 添付書類

領収書等証拠書類

(様式1)

令和5年度 政務活動費明細書

No	内容	項目	費目											(単位:円)		
			旅費	講師謝金	出席負担金	印刷製本費	図書購入費	備品購入費	消耗品費	使用料	郵送料	手数料	賃金	その他	領収書額	政務活動費報告額
1	広報誌作成費	広報及び広聴費				173,250									173,250	134,269
2	広報誌配布費	広報及び広聴費										167,488			167,488	129,731
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
合 計						173,250						167,488			340,738	264,000

研修開催費		
調査研究費		
資料作成・資料購入費		
広報及び広聴費	340,738	264,000
人件費		
事務所費		
合 計	340,738	264,000



# 領 収 証

No. 00148

岩田 良 様

2020年 3月 21日



¥ 167,408 -

但し 3/30 ポスティング料として  
(現金・小切手・お振込)

上記金額正に領収いたしました

内訳

税 率	税抜金額	152,262
10 %	消費税額	15,226
税 率	税抜金額	
%	消費税額	



株式会社 毎日メディアサービス

〒812-0004 福岡市博多区  
福岡営業部 TEL(092)471-1122 FAX(092)474-6466  
サンデー事業部 TEL(092)471-1177 FAX(092)471-1149  
登録番号 T8290801003470

取扱者





## 宗像市の小中学校の給食費無償化を求める請願について

令和5年12月議会において、学校給食費無償化を求める会の代表、松本年弘氏より宗像市の小中学校の給食費無償化を求める請願が提出されました。

**私は、この請願の代表紹介議員として審議に臨みましたが、本会議での結果は不採択となりました。**

この結果については責任を感じますが、問題はその反対理由です。請願者は当初、令和6年4月から小中学校の無償化を目指していたものの、多くの市議達の話や向う中で、スケジュール的に不可能であることを理解された結果、開始時期については可能な限り早期にという要望に留めたうえ、その開始範囲についても、まずは明石市のように中学校からの開始、あるいは佐世保市のように受験を控えて塾代等の捻出に費用がかかる中学3年生からの開始など、段階的な開始導入についても十分に受け入れることができることについて、再三にわたって説明したにも拘わらず、この趣旨が全く理解されることなく、あたかも請願者が今すぐに小中学校の給食費無償化を完全一斉に行うことのみを求めていることが明らかになったかのような前提に立ち、その財源の根拠不足の指摘に終始していたことです。

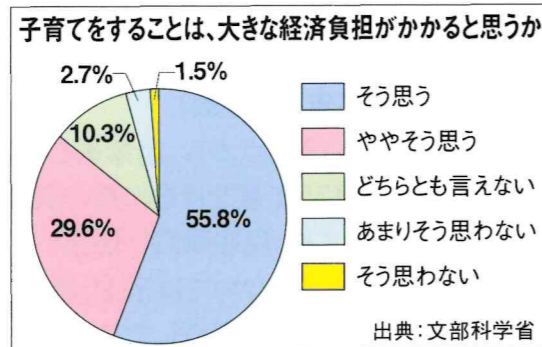
反対ありきの反対であったように感じます。

**私は、この請願の本質は、明石市等と同じ視点に立ったうえで、宗像市で実施できる範囲・可能性について多角的に検討するなかで、宗像市が子育て世帯への支援拡充に対してどれだけ大きな舵を切れるのかを、市民を巻き込んで議論するきっかけになるのもであったと捉えています。**

**30年前と比較し、現役世代の平均所得は変わらない一方、税金をはじめとする国民負担率は上がり続けた結果、子育て世帯の可処分所得は下がり続けているという課題認識の下、国による無償化への動きが鈍い今、子育て世帯に選ばれるまちを標榜する本市が、次世代への投資として教育費の家計負担軽減への第一歩を踏み出すことができるか否かを問われた審議であったからです。**

不採択によって議会から市長執行部へその提言ができなかったことについては、極めて残念でありませんが、子育て世帯への支援拡充に向けては、引き続き力を尽くして参りたいと思います。

※尚、市議会19名中、日本維新の会、公明党、共産党、未来むなかた、に所属する計7名が賛成。



議会最終日の採決の動画を添付します。私の発言は73分頃～

## 財源不足の指摘の前にやるべきことがある!!

コロナ禍を除き、例年12月議会においては、市議会議員の賞与アップを含む議案が人事院勧告に従って提出されてきました。私は、当選来、一人一貫して反対し続けてきましたので、今回も当然反対しました。

この反対から生み出される財源では、給食費の無償化等にかかる財源はとて捻出できませんが、議会において市の財源の乏しさを指摘し、反対するならば尚更、まずは財源捻出のための「覚悟」を示すうえでも、まずは議員自ら身を切ることから始めるべきと考えます。

議会最終日の採決の動画を添付します。私の発言は19分頃～



## いわおか良 事務所

〒811-3403 宗像市ひかりヶ丘6-1-56

TEL/FAX 0940-35-4880 E-Mail iwaoka.jimusyo@gmail.com



宗像市議会議員

# いわおか良 活動報告

vol.8

りょう



## ごあいさつ

日本維新の会の岩岡良です。

市議会議員として8年目を迎え2期目最後の年となりました。例年の活動報告書では、直近1年に行った議会一般質問の内容を中心に報告してきましたが、今回の活動報告では、それに加えて議会改革の現状、及び議会内で審議が行われた請願の内容について報告致します。

一般質問とは、議員が「市」に対して、市の行政全般にわたる執行状況や将来の方針などについて尋ねることによって、市長や教育長等の執行機関の政治姿勢・政治責任を明確にするなかで、住民から寄せられた課題や社会課題などについて取り上げ、政策提言を行いながら、「市」に対して施策の改善や新規施策の採用を求めるものです。

一方、議会改革というテーマは、市の執行部に対してではなく、議会内・議員同士で自律的にその在り方を議論し、見直しを図ることを目的とするものですので、両者の間には大きな違いがあります。

中面の議会改革に関する内容においては、大きな摩擦が起きることも想定されますが、将来の宗像市のためには必要な課程だと考えるため、逃げずに真正面からお伝え致します。

報告にあたっては、議員活動によって施策が前に進んだことを記すことも大切ですが、一方で質問や提言をもってしても、前に進まない課題も多くあります。ですが、簡単に前に進まない課題だからこそ、意見をぶつけ合うことで、その原因を浮き彫りにさせ、市民の皆様と共有することも、重要な目的であると考えています。背景をご理解して頂きたい、説明が長文となり申し訳ございませんが、ご一読頂けると幸いです。

## いわおか良 プロフィール

- 昭和57年 8月11日生まれ
- 平成13年 福岡県立宗像高等学校卒業
- 平成18年 同志社大学経済学部卒業
- 平成20年 西濃運輸株式会社
- 平成26年 衆議院議員河野正美秘書
- 平成27年 吉村洋文大阪府知事随同行担当
- 平成28年 宗像市議会議員選挙初当選
- 平成30年 予算第一特別委員会委員長
- 令和元年 予算第二特別委員会委員長
- 令和2年 宗像市議会議員選挙2期目当選
- 令和2年 日本維新の会福岡県総支部(福岡県連)幹事長
- 令和4年 予算第一特別委員会委員長
- 令和5年 予算第二特別委員会委員長





## 宗像市議会の議員定数等の見直しについて

令和4年11月、宗像市議会議長宛に、宗像市議会議員の定数・報酬をはじめとしたあらゆる議員の身分に関する現状、及び議会基本条例に関する現状見直しに向けた調査検討特別委員会の設置を求める要望書を提出しました。提出理由等を記した原文については以下のとおりです。

令和4年11月吉日  
宗像市議会議長 神谷 建一 様

提出者 宗像市議会議員 岩岡 良

### 【要望要旨】

議会改革の一環として、議員の身分に関する現状、及び議会基本条例に関する現状見直しのための調査検討特別委員会の設置を求めるもの

### 【要望理由】

これから先、日本国はより深刻な人口減少とそれに伴う厳しい財政運営を迫られることは周知の事実であり、本市においても同様の現状を乗り切るため、議会から行政に対しては、より一層の行財政改革を求め続けているところである。しかしながら、これをより強く推進するためには、議会内においても、同様の改革は必要不可欠であると考えます。

この点、本市においては、玄海町・大島村との合併を機に、最終的には平成18年に、議会自ら議員定数を現在の20名まで削減するなど、自律的な議会改革を推進してきた経緯がある。そして、平成22年には議会改革調査特別委員会を設置し、翌々の平成24年には議員の費用弁償制度を廃止するなど、まさに「継続的な」検討・見直しがなされてきた。

しかしながら、令和4年11月時点においては、当時から約12年にわたって議員の身分に関する調査検討は行われていない。時に、令和元年4月の統一地方選挙に伴う一名の辞職によって、その後2年間は19名で議会運営が行われてきた経緯もあるため、改めてこの効果検証も含めた、あらゆる議員の身分に関する議論の場が必要だと考える。

また、本市においては、平成22年に議会基本条例を制定し、市民に信頼され、存在感のある豊かな議会を構築することを標榜してきたが、一方で同11条に定める政策討論会などは未だ開催に至った経緯がないという課題も見受けられるため、ここで改めて本条例の趣旨目的を再確認したうえで、議会の進むべき方向性について議論が必要だと考える。

同時に、本市においては他市に先駆けてコミュニティ施策を推進してきたことで、住民自治の発展という視点においては、他市とは大きく異なった環境の下にあることを念頭に、本市ならではの議員の在り方・責務についても、改めて議論する必要があると考える。

政治不信が蔓延する中、地方であっても議会に向けられる市民の目はより一層厳しくなっているなか、令和6年の次期宗像市議会議員選挙に向けて、宗像市議会としてその声を如何に受け止め、そして自律的に「継続的な」改革を行い続けることで、より信頼される市議会を構築し、以て、市の発展に寄与する機関でありたいと考え、本要望書を提出する。

上にお示しましたが、私がこの要望書を提出した理由は、市民に負担を求める前に、議員定数の削減をはじめとして、まずは議員の身分の在り方を見直すことから始めることが重要だと考えるからです。一方で、他の会派において、議員定数を増やすべきであるという考えの議員もおられるのも事実です。私は、その考え自体を否定するつもりは全くありません。住民の声をつぶさに把握し、それを議会の場で提言するには議員定数が多い方が良い、という考え自体は理解できるからです。

ですが、多様な意見があるからこそ尚更、公式に調査検討特別委員会を設置し、全ての議員が各々の考えを発言し、正々堂々と議論を交わすことが重要だと考えます。委員会の中で、市民が宗像市議会に何を求めているかを確認した上で、そのために必要な議員定数の在り方、議会運営のあり方などを再構築する必要があると考えるからです。そして最も重要なのは、この議論をフルオープンで公開しながら、その過程・結果について市民に還元することだと考えています。

しかし 令和5年8月、宗像市議会議長より、この調査検討特別委員会は開催しない旨の報告を受けました。

理由は令和6年10月の市議会議員選挙まで時間がないとのことでありました。ですがこの要望書を提出した時期は令和4年11月であり、次期市議会議員選挙の2年前のことでもありますので、到底結果に納得できるものではありません。公開どころか、議論の場すら設けられなかったのが現実です。

課題として見えるのは議会運営のあり方です。例えば現在の議会運営上の議長選挙においては、投票に先立った立候補者の所信表明すら行われていないため、選出される議長がどのように議会運営を行い、あるいは改革を行っていくのかが示されない現状です。また、数ある市の課題に対して、会派の壁を越えた全議員での政策討論会も開催されたことがないなど、見直すべき課題は山積しています。

この特別委員会開催に向けては、副議長や議運の委員長をはじめ、ご尽力頂いた議員も複数名いたなか、このような結果になったことは残念で仕方ありませんが、引き続き市民に信頼されるオープンな議会を目指し、力を尽くして参りますので、市民の皆様も今後の議会の在り方について、注視して頂ければと思います。

## 直近一年の一般質問から一部抜粋

### ①不妊治療に対する支援・助成制度について(令和6年3月議会)

不妊治療の保険適用開始により、都道府県の助成制度が終了したことで、かえって自己負担が大きくなった事例が多数報告されているという課題を前に、宗像市独自の助成制度の構築を求め続けてきましたが、令和6年3月議会の中で、令和7年度からスタートする「宗像こども計画」に位置付けたうえで、可能な限り早く実現するとの回答を得ました。不妊治療は少子化対策のスタートでもあり、福岡県内の基礎自治体がこの問題に対して足踏みをする現状のなか、本市がここにしっかり支援を行う方向性を示したことは、極めて大きな価値を持つと考えますので、一日も早い実施を期待します。



### ②企業・商業施設誘致について(令和6年3月議会)

本市における観光・賑わいの創出という視点から、起爆剤となりうる大きな企業誘致ビジョンを示す必要性を求めた過去の一般質問に対し、2025年度を目途に道の駅周辺に大型店舗誘導を図りたいとの答弁があったため、現在の進捗を確認したところ、現在順調に協議しており、企業立地協定の締結段階まできたとの回答がありました。誘致企業のイメージについては宿泊・温泉・飲食・物販等を含む複合商業施設とのことです。開業が本市の新たな魅力となることを期待します。

### ③空地から派生する危険状態を解消するための環境整備について(令和5年6月議会)

行政が認定する空地の危険状態の判断にあたっては、条文上の「著しく公益に反する状況」という概念が限定的すぎるため、その解釈に柔軟性を求めるもの。

### ④災害対策と復旧支援について(令和5年9月議会)

令和5年7月に福岡県を襲った大雨被害に際し、実際に災害ボランティアに入った経験から、本市に必要な備えと対策について求めるとともに、宗像市住宅地内でも発生した生活道路冠水の改善を求めるもの。



実際の大雨被害の様子

### ⑤LGBTQ理解増進について(令和5年12月議会)

国のLGBT法成立及び福岡県のパートナーシップ宣誓制度をうけて、本市に必要な施策について求めるもの。



※④⑤については、論点が多岐にわたるため、実際の議会映像が見られるQRコードからご覧ください。